令和４年度　学校評価　自己評価（後期）　　（小 71）　鹿児島市立星峯東小学校

１　学校の重点目標

○　道徳心や社会性を養い，心身ともにたくましい子供を育てる。
○　「確かな学力」をもち，個性あふれる子供を育成する。
○　信頼される開かれた学校教育を推進する。
○　一学校一改革を進める。

２　課題と改善策

※　評価の目安　４＝８０％以上達成　　３＝５０～７９％達成　　２＝２５～４９％達成　　１＝２４％以下

	評　価　項　目	評価	評価結果と改善方策等
心身ともにたくましい子ども	○　いじめのない心豊かな児童を育成するための生徒指導の充実 ○　体力の向上と健康・安全教育の推進	3.2 [＝] 3.1 [↓ 0.1]	○　「学校楽しぃーと」を実施し，学級傾向や個別の評価，変容等の把握に努めている。 人間関係の不安等から，登校をしぶる児童が５名いる。保健室登校や保護者との細やかな連絡を図りながら個別の対応を図っている。 ○　学校行事を通して，継続的な体力つくりを働きかけている。新型コロナウイルス感染防止対策（マスクの着用，手洗い，換気等）により，インフルエンザ流行防止が図られている。（２月３日現在２名）
確かな学力をもち個性あふれる子ども	○　確かな学力の育成及び個性の伸長を図る教育の推進	3.0 [↓ 0.2]	○　音読カードや九九暗唱など，家庭での見届け協力により，定着に有効な取組ができた。 ○　年２回の講師を招聘した研究授業（ICT 機器）の他，各学級でのワンペーパー授業（各教科）を実践し，研究成果の共通実践を図っている。 ○　鹿児島学習定着度調査結果では，過去問の実施や復習により効果の見られた教科もあるが，特に社会・算数の定着が十分に図れていない。国語はやや下回る。理科は大きく上回る。
信頼される開かれた学校	○　特色ある開かれた学校づくりの推進 ○　新しい時代に即応する教育の推進	3.0 [＝] 3.0 [↓ 0.1]	○　学校支援ボランティア事業をとおして，地域との連携だけでなく，お世話になった方へ感謝する機会を特設することで，児童の心の教育を育むようにしている。 ○　すべての学級でＩＣＴ機器を積極的に活用し，効果的な学習指導に努めている。児童一人一台の端末設置が２月２２日完了予定。プログラミング教育も計画的に進められている。
一学校一改革	○　あいさつ指導の推進	3.1 [↓ 0.3]	○　教児一体となった継続的な挨拶指導・実践により挨拶をする児童が増えてきた。更に，立ち止まり，相手を見て挨拶する児童も増えてきた。逆に，自分から挨拶ができない児童も少なくはない。

３　次年度に向けての取組

○　次年度への進学・進級を意識させ現学年のまとめとして，学習内容の確実な定着を図るようにする。また，他職員と連携しながら，複数による個別指導にも対応していきたい。
○　特別に配慮の必要な児童や登校しぶり解消に向けて，保護者や関係機関（市教委，臨床心理相談員，ＳＳＷ，中学校等）との連携をより強化していきたい。